

あわつと感染症情報 (2025-48)

千葉県安房保健所発
2025 年 12 月 5 日配信

☆今週のトピックス☆

エチオピア連邦民主共和国でマールブルグ病が発生しました

令和 7 年 11 月 14 日、エチオピア連邦民主共和国においてマールブルグ病の発生が確認されました。同日時点で 9 例の症例が報告されています。

マールブルグ病は、1 類感染症に分類されており感染力及び罹患した場合の重篤性からみた危険性が極めて高い感染症です。

コウモリやラットなどの媒介動物が指摘されていますが、自然界からヒトへの感染経路は不明です。感染源になるのは、患者の血液、体液、排泄物、唾液などで、これらとの直接接触および医療機関や家族内での濃厚接触が感染経路で、空気感染はありません。

突発的に発症し、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛に続き発疹がみられます。その後、症状は悪化し、黄疸、全身衰弱、精神錯乱、出血、多臓器不全をきたします。

<参考>・マールブルグ病(厚生労働省検疫所) https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis07_01mar.html

・マールブルグ病(JIHS) <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/hemorrhagic-fever/040/detail-marburg-virus-disease/index.html>

☆安房管内の感染症発生状況☆

新型コロナウイルス感染症

安房

県内

★安房管内における2025年第48週(令和7年11月24日～令和7年11月30日)の定点医療機関当たりの報告数は0.17人と前週0.50人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は1.02人と前週1.20人と比べ、減少)

<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

・新型コロナウイルス感染症への対応(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-category5.html>

インフルエンザ

安房

県内

★安房管内における2025年第48週(令和7年11月24日～令和7年11月30日)の定点医療機関当たりの報告数は14.00人と前週14.67人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は47.93人と前週61.43人と比べ、減少)

インフルエンザ警報発令中!

<参考>インフルエンザから身を守ろう(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

インフルエンザ注意報の発令について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/infulu1029.html>



★インフルエンザの予防方法★

- 1 こまめな手洗いとマスクの着用
- 2 適度な湿度の保持
- 3 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 4 人混みや繁華街への外出を控える
- 5 室内ではこまめに換気をする
- 6 ワクチン接種

感染性胃腸炎

安房

県内

★安房管内における2025年第48週(令和7年11月24日～令和7年11月30日)の定点医療機関当たりの報告数は0.50人と前週1.50人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は3.13人と前週3.55人と比べ、減少)

<参考>・感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus/>

❀ 安 房 管 内 の 全 数 届 出 疾 患 ❀

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

< 4 類感染症 >

★日本紅斑熱 3件

日本紅斑熱は、日本紅斑熱病原体を持つマダニに刺されることで発症するダニ媒介感染症です。

マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になり、農作業や草刈りなどで山林や草むらに立ち入る際には、

①長袖、長ズボンなど肌の露出のない服装にする②忌避剤(防虫スプレー)を使用する③帰宅したらすぐに着替え、シャワーを浴びる、などの対策をしましょう。

★つつが虫病 3件

つつが虫病は、つつが虫病原体を保有するツツガムシに刺されることで発症するダニ媒介感染症です。

全国的に発生している感染症ですが、千葉県での発生時期は秋から春にかけて患者が発生しています。

日本紅斑熱と同様に農作業や草刈りなどで山林や草むらに立ち入る際には対策をしましょう。

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>
・つつが虫病について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173061.html>

< 5類感染症 >

★急性脳炎 1件

急性脳炎は様々な病原体による脳の炎症に起因する疾患の総称です。脳炎・脳症には、感染症、ワクチン接種、自己免疫疾患などが原因でおこるものがあります。感染症による場合、病原体は多種多様で、インフルエンザウイルス、単純ヘルペスウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルス、麻疹ウイルス、風しんウイルス、水痘帯状疱疹ウイルス、ヒトヘルペスウイルス6などのウイルス、マイコプラズマ、スピロヘータ、レプトスピラ、リケッチアなどの細菌、真菌、寄生虫(トリパノソーマ、旋毛虫など)によるものがあります。

多くは病原体による感染症の症状が先にあり、急性脳炎が始まると、高熱、意識障害やけいれんなどの症状が出ます。

病原体によってはワクチン接種による予防ができます。

<参考>・急性脳炎(JIHS) <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/acute-encephalitis/010/encephalitis-intro.html>
・急性脳炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-03.html>

❀ お 知 ら せ ❀

★「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療の手引き 2025年版」が厚生労働省より出されました

SFTS は、マダニにより媒介される SFTS ウイルスによる感染症で、主な初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状(食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)で、重症化し、死亡することもあります。

「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療の手引き 2025年版」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001598839.pdf>



【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp